

新しい不等像視検査装置を用いた不等像視の評価に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2020年10月9日承認 ～ 2023年3月31日

〔研究課題〕

Spatial Aniseikonia Test を用いた不等像視の評価

〔研究目的〕

新しい不等像視検査装置である Spatial Aniseikonia Test を用いて不等像視の評価を行います。

〔研究意義〕

不等像視とは左右の眼に感じる同一物体の像の大きさや形が異なる状態をいいます。

従来の不等像視検査装置は測定精度が低く、縦方向の不等像視しか測定を行えません。今回使用する Spatial Aniseikonia Test (SAT) は測定精度が高く、不等像視を詳細に測定することが可能です。

SAT を用いた不等像視の報告は、測定精度と、健常者における全面不等像視の割合を調べたのみで、その他の検討は行われていません。本研究では、SAT を用いて不等像視を測定した疾患を後ろ向きに検討し、不等像視の種類と影響する因子について検討を行います。

〔対象・研究方法〕

- ・対象：不同視弱視患者
網膜・脈絡膜疾患患者
- ・除外基準：片眼の視力が 0.3 未満の方
眼内レンズを挿入しているもの

〔研究機関名〕

帝京大学 医療技術学部 視能矯正学科

〔個人情報の取り扱い〕

匿名化して個人が特定できないようにする。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：瀧川 流星

研究分担者：松岡久美子, 溝田 淳, 中川 真紀, 佐々木 翔, 広田 雅和, 佐々木 梢

所属：帝京大学 医療技術学部 視能矯正学科

住所：東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL:03-3964-1328 (代表) [内線 45520]